※令和４年度以降入学生用

学校番号	402

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	新課程　サクシード　数学Ⅱ＋Ｂ　（数研出版） チャート式　新課程　基礎からの数学Ⅱ+Ｂ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学を学習することにおいて留意することは、単に公式や定理を暗記して問題を解くだけでなく、数学の用語・記号、公式、定理などを体系的に理解して身につけ活用することです。また数学を学習していく過程で、帰納的な考え方、演繹的な考え方など、数学特有の見方や考え方を学ぶことになります。このような見方や考え方のよさを理解し、何が本質であるかを見抜くことが大切であり、この本質をつかむと、未知のいろいろな事柄にも見通しをもって対処することができるようになります。数学を通して、見通しをもち筋道を立てて考え、判断できる力を身につけるとともに、日常生活や社会生活において数学を積極的に活用することを期待します。

2　学習の到達目標

数列，統計的な推測について理解し，基礎的な知識と技能を習熟し，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようになるとともに，それらを活用出来るようになる。

数学のよさを認識し数学を活用し粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断出来るようになる。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したり出来るようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　数列	【第1節　数列とその和】 1. 数列 2. 等差数列とその和 3. 等比数列とその和 4. 和の記号Σ 5. 階差数列 6. いろいろな数列の和	a: 数列に関する用語，記号を適切に用いることができる。また，具体的な問題に対して，数列の考えを用いて数列の和が求められる。 b: 数列の一般項を表す式を，定義域が自然数である n の関数と捉え，新しい概念である数列を，既習の関数と関連付けて考察できる。 c: 数の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする意欲がある。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		【第2節　数学的帰納法】 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法	a: 漸化式の意味を理解し，具体的に項が求められる。数学的帰納法を用いて，等式や不等式を証明できる。 b: 漸化式を適切に変形して，数列の特徴を考察することができる。数列の一般項を推測し，それが正しいことの証明に数学的帰納法を活用することができる。 c: おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について考察しようとする。数学的帰納法を利用して，いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期	第2章 統計的な推測	【第1節 確率分布】 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の変換 4. 確率変数の和と期待値 5. 独立な確率変数と期待値･分散 6. 二項分布 7. 正規分布	a: 確率変数や確率分布について，用語の意味を理解し、その期待値、分散、標準偏差が求められる。 b: 確率変数の期待値，分散，標準偏差などを用いて，確率分布の特徴を考察することができる。 c: 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき，確率分布について積極的に考察しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		【第2節 統計的な推測】 8. 母集団と標本 9. 標本平均とその分布 10. 推定 11. 仮説検定	a: 母集団分布と大きさ 1 の無作為標本の確率分布が一致することを理解し，母平均，母標準偏差が求められる。 b: 母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 c: 実際に行われているさまざまな調査に興味をもち，それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度